

公益財団法人佐藤奨学会 平成30年度奨学生 募集要項

1. 応募資格

高等学校、高等専門学校、大学または大学院に在学し、学業、人物とも優秀で、かつ健康であり、学資の支弁が困難と認められるもの。

2. 奨学金額

高等学校奨学生	月額	11,500円
高等専門学校奨学生	月額	16,000円
大学奨学生	月額	25,000円
大学院奨学生	月額	30,500円

3. 採用予定数

高等学校生	2名
高等専門学校生	1名
大学生	13名
大学院生	4名

4. 支給期間

正規の最短修業年限とする。

2年次以降に支給を受ける場合は残りの修業期間。

5. 奨学金の支給方法

原則として、毎月一定日に本人宛に支給するが、7、8月、2、3月分については2か月分まとめて支給する。また、学校から特別に指示がある場合は学校経由で支給する。

6. 応募方法

必要書類を取り揃えた上、学校担当者経由で提出のこと。

(必要書類)

- (1) 願書(学校から受取ること)
- (2) 在学学校長の推薦書(財団指定フォーマット、学校から受取ること)
- (3) 成績証明書
- (4) 健康診断書(発行が間に合わない場合は後日提出のこと)
- (5) 家計維持者の収入証明書コピー(両親可)
- (6) 課題(A4用紙1枚、自由記述)

課題内容:「10年後の自分」について

10年後、どのように社会で貢献できる人間になりたいか、A4用紙1枚にご記入ください。絵や写真の貼付可能です。

7. 書類提出期限（奨学会事務局必着）

平成 30 年 4 月 27 日（金）

8. 結果の通知について

可否にかかわらず、本人、学校宛に結果を通知する。

尚、学内選考を実施した場合は、その結果は学校側から応募者へ可否を通知すること。

9. 奨学生の義務について

奨学生は、以下に定める義務を履行する必要があります。

(1) 奨学生は、奨学金給与規定を厳守すること

(2) 次のいずれかに該当する場合は、直ちに事務局に連絡すること

1. 留学をする場合

2. 休学、復学、転学又は退学したとき

3. 停学、その他の処分を受けたとき

4. 氏名、住所、メールアドレス、その他重要な事項に変更があった場合

5. 留年又は卒業延期の恐れが生じたとき

(3) 毎月（ただし 7・8 月は 7 月、2・3 月は 2 月）奨学金の交付をうけた奨学生は、当月末までに奨学金領収書を提出すること

(4) 毎年度末に、下記の書類を事務局に提出すること

1. 活動報告書（指定のフォーマット）

2. 成績証明書

3. 収入証明書

4. 進路報告書（卒業生のみ）

10. 奨学金の休止について

休学、あるいは長期に欠席する場合は奨学金の交付を休止する。このような場合は速やかに本会事務局に連絡すること。

11. その他

(1) 募集は各学校宛に行うため、学校経由で応募すること。直接応募は認められていない。

(2) 当財団の奨学金は、返還の必要はない。

(3) 他の奨学金との併願・併用は可能。

(4) 提出された応募書類は返却しない。

以上

願書記入の手引き

1. 氏名・生年月日は、戸籍謄本に記載されているものを記入する。
2. 現住所へは、自宅、自宅外のいずれかを記入すること。
また、連絡先は電話番号など必ず記入すること。
3. 上記以外の連絡先は、必要がなければ記入する必要はない。
4. 履歴は中学校以上を記入する。
5. 保証人に父もしくは母を記入しても構わない。
6. 家族欄には、二親等（父母・兄弟姉妹）まで記入する。
7. 家計維持者に○印を付する。家計維持者が父母等二人以上の場合は全てに○印を付すること。
8. 他の奨学金を受給予定或いは既に受給している場合は、その金額を記入する。
9. 健康診断書が期日までに用意できない場合は、発行後の提出でも構わない。家計維持者の収入証明書は、源泉徴収票のコピー等を提出のこと。
10. 備考欄には資格や受賞歴等を記入すること。

家 庭 調 査 書

申 請 者	所 属	学群 _____ 学類 _____ 年次 _____										
	学籍番号					性別	男・女	現住所	〒 _____ TEL (_____)			
	フリガナ							家族住所	〒 _____ TEL (_____)			
	氏 名											
家 族 及 び 所 得	続柄	氏 名	年齢	職 業	在職期間	勤 務 先 名 称	給与所得の収入金額 (税込)	給与所得以外の所得金額				
	父				年		万円	万円				
	母				年		万円	万円				
	父または母 死亡・離別の場合		時期 (年 月)		理由 (_____)							
	主たる家計支持者無職等の場合		時期 (年 月)		理由 (_____)							
					年		万円	万円				
					年		万円	万円				
					年		万円	万円				
					年		万円	万円				
	別 居 者 に ○ 印	続柄	氏 名	年齢	学 校 名	設置者別	学校種別	通学別	控 除 額			
本人				筑波大学	国立		※自 宅 自 宅 外	万円				
					※国公立 私 立	※小・中・高・高専・大学 専修 (高等・専門)	※自 宅 自 宅 外	万円				
					※国公立 私 立	※小・中・高・高専・大学 専修 (高等・専門)	※自 宅 自 宅 外	万円				
					※国公立 私 立	※小・中・高・高専・大学 専修 (高等・専門)	※自 宅 自 宅 外	万円				
家 庭 の 特 殊 事 情	特別控除項目	控除有無										
	障害者がある世帯	※有・無	続柄 ()	氏名 ()	手帳番号 ()				万円			
	その他											
本 人 の 状 況	家庭からの給付	月額 (千円)					認 定					
	アルバイト	月額 (千円)	内容 (_____)				総収入金額	①	万円			
	奨学金	受給中	月額 (千円)	団体名 (_____)				必要経費	②	万円		
		申請中	月額 (千円)	団体名 (_____)				特別控除額	③	万円		
	その他の収入	月額 (千円)	内容 (_____)				総所得金額	④=①-②-③	万円			
学 業 成 績	評 価	高等学校	5	4	3	2	1	平 均 値	収入基準額	世帯人数	人	
		大学 (院)	A	-	B	C	-			⑤	万円	
	修得単位数または科目数							家計充足率	⑥=④÷⑤×100			

- (注) 1. 太線の枠内を記入し、※印は○で囲むこと。
2. 「給与所得の収入金額」欄は、申請の前年1年間の収入金額を記入し、所得証明書、源泉徴収票(写)を添付すること。
(父と母が給与所得者の場合は父と母両方添付すること。年金受給者の場合は年金振込通知書(写)。失業者は雇用保険受給資格者証(写)。
3. 「給与所得以外の所得金額」欄は、申請の前年1年間の収入金額から必要経費を控除した金額を記入し、確定申告書(写)等を添付すること。
(父と母が確定申告をしている場合は父と母両方添付すること。)
4. 「家庭の特殊事情」欄について、障害者のいる世帯については障害者手帳(写)、その他については証明するものを添付すること。
5. 「学業成績」欄については、1年次生(編入学生を含む。)にあっては出身学校の成績を記入(科目数で平均値を算出)し、成績証明書を添付すること。2年次以上の者にあっては、前年度までの成績(修得単位数で平均値を算出)を記入し、成績証明書を添付すること。